

●演習ワークシート

手順書作成シート

手順書の作成演習

(1) 指示簿の書き方・考え方演習

【受けもつ患者の一般的な像】 自由に設定

【必ず出すと思われる指示】

発熱，血圧低下，便秘，尿量低下，不眠 の中から選択

【指示を出すときに，鑑別すべき病態（仮説）】 ◎急いで相談すべき病態

◎ (1)

(2)

(3)

【「急いで相談すべき病態」を疑わせる所見】

(頻呼吸，酸素飽和度の低下，激しい痛みを伴っているなど)

【具体的な指示】

(薬品名がわからなければ，「抗菌薬」「解熱剤」というような表現も可能)

【指示内容が行われたあと，注意して観察すべき事項】

(血圧が低下しないか，息苦しくないかなど)

(2) 手順書作成演習

手順書の 6 項目が含まれている紙に必要事項を書き込み手順書を作成する。演習前に書き込んだ手順書はできるだけ見ずに実施する。

ポイント	【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】を記載するためには， ● 鑑別すべき病態が挙がる ● 範囲内の病態の患者の状態がわかる ● 範囲外の病態の患者の状態がわかる ● 患者の状態と観察項目の関連付けができる
------	--

● 演習ワークシート

所属施設：

氏名：

手順書作成シート

手順書：

【当該手順書にかかる特定行為の対象となる患者】

- 1.
- 2.
- 3.

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

以下のいずれにもあてはまる

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

病状の範囲外

あてはまらない項目が1つ
でもあれば、担当医師の
電話に直接連絡

病状の範囲内

【診療の補助の内容】

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐
- ☐
- ☐

あてはまらない項目が1つでもあれば、下記の確認をして担当医に連絡

担当医師の電話に直接
連絡

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】

- 1.
- 2.